

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2019-182830 (P2019-182830A)

【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2018-216806 (P2018-216806)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 5/06 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 Q 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 5/02

A 6 1 Q 5/12

A 6 1 Q 5/06

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 Q 7/00

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 24 日 (2020.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

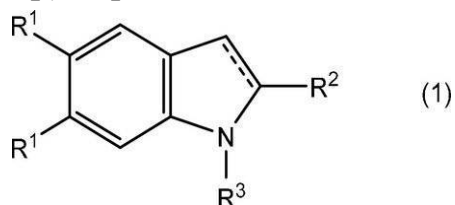
【請求項 1】

下記工程 (i) 及び工程 (i i) を順に有し、該工程 (i) と工程 (i i) との間に、毛髪をすすぐ工程を有する毛髪処理方法。

工程 (i) : 次の成分 (A) を含む組成物を毛髪に塗布する工程

(A) 下記一般式 (1) で表される化合物又はその塩

【化 1】



〔式中、破線は π 結合の存在又は不存在を示す。R¹ は水酸基又はアセトキシ基を示す。R² は水素原子、又は $-\text{C}(\text{O})\text{O}R$ (R は水素原子、メチル基又はエチル基) を示す。R³ は水素原子、アセチル基、メチル基又はエチル基を示す。〕

工程 (i i) : 45℃以上 140℃未満の温度で毛髪に形状を付与する工程

【請求項 2】

前記組成物の pH が 8.0 以上 12.0 以下である請求項 1 に記載の毛髪処理方法。

【請求項 3】

工程 (i i) が、前記温度で、うねりのある毛髪に対しうねりを緩和させた形状を付与する工程である請求項 1 又は 2 に記載の毛髪処理方法。

【請求項 4】

工程 (i i) を、毛髪を根元から毛先方向に向かって伸ばしながら行う請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 5】

工程 (i i) を、毛髪を梳かしながらブロー乾燥することにより行う請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 6】

前記組成物中の成分 (A) の含有量が 0.02 質量% 以上 5 質量% 以下である請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 7】

工程 (i) と工程 (i i) との間に、前記組成物を塗布した状態で毛髪を 1 分以上放置する工程を有する請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 8】

工程 (i) において毛髪に塗布する組成物の量が、毛髪の質量に対する浴比 (組成物の質量 / 毛髪の質量) で、0.05 以上 1.5 以下である請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 9】

前記組成物が毛髪洗浄剤、リンス、コンディショニング剤、トリートメント剤、スタイリング剤、染毛剤、又は育毛剤である請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 10】

成分 (A) が、5, 6-ジヒドロキシインドール、5, 6-ジヒドロキシインドール-2-カルボン酸及びこれらの塩からなる群から選ばれる 1 種又は 2 種以上を含む請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 11】

還元剤を含む毛髪処理剤、及び pH 12 を超える毛髪処理剤を毛髪に適用する工程を含まない、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。

【請求項 12】

前記組成物中の成分 (A) 以外の染色剤の含有量が、0.03 質量% 以下である請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の毛髪処理方法。